

【基本情報】

教科	芸術	学年	3年	教科書	書道Ⅲ（東京書籍）
科目	書道Ⅲ	単位数 （年間予定コマ数）	2 （64）	副教材	墨心
科目概要	書道Ⅱを踏まえ、さらに生徒の能力・適性・関心等に応じた活動を展開し、個性豊かな書の能力を高めます。 書の文化や伝統についての理解を深めます。				
到達目標	個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばします。				
授業の進め方	ほぼ毎時間、書道実技が中心です。 プリントや鑑賞、書道理論なども適宜織り交ぜます。				
留意事項	「継続は力なり」・・・ただ提出された作品のみでなく、追求する過程も評価します。 楽しく伸びやかな表現を目指します。 書道用具は、評価の公平を期すために、全員同じ物を使用します。 書道用具は、書道室内に保管します。 移動・準備は、休み時間中に完了させてください。				
家庭学習					
備考					

【評価の方法】

観 点	ポイント	割 合	評価項目
A. 書への関心・意欲・態度	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化の関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	10%	授業に対する姿勢や積極性を評価します。
B. 書表現の構想と工夫	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	20%	作品の変容の過程を評価します。 討論をする姿勢や、考えたことを伝えようとする積極性を評価します。
C. 創造的な書表現の技能	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身につけている。	60%	提出された作品を評価します。
D. 鑑賞の能力	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書の良さや美しさを創造的に味わっている。	10%	書の美しさを知識として理解しているか評価します。
E.		%	

【年間計画】

単 元	配当時数	学習内容	観点別評価					到達目標
			A	B	C	D	E	
オリエンテーション	1	シラバスの説明 各自の目標設定	○					半年間の授業内容を知る。
漢字仮名交じりの書 1 漢字の書 1	2 7	座右の銘を書く 掛け軸の制作	○	○	○	○		深みのある言葉を選択できるようにする。 表装作業を丁寧に行おうと努力する。
漢字仮名交じりの書 2	1 1	ガラス絵 作品制作	○	○	○	○		心から書きたい言葉を得ることができるようにする。 鑑賞に堪える言葉を選択できるようにする。 言葉と空間の関わりを理解することができるようにする。
漢字の書 2	2 5	臨書（始平公造像記） 作品制作（個人から共同作業へ） 合作	○	○	○	○		造像記の特徴を理解し、表現しようとする。 統一感のある合作を仲間と協力して完成させようとする。